

イトマン 奈良ブロック新聞 2024.06

あの時諦めなかったから
あの時努力し続けたから
あの時辞めさせないでくれたから
僕たち、私たち、とっても強くなりました。

ありがとう



3泳法（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ）習得おめでとう！！

なかなか進級できず悔しい思いをしたり、時には辞めたくなったり、様々な経験をしてきました。
辛いことがあっても乗り越えられたのは、本人の頑張り・努力と、イトマンでできたお友達存在、
そして保護者の方々のサポートのおかげです。

習い事という“本人次第”で頑張ったり頑張らなかつたりと思いがちですが、実は違います。
子どもは感情の塊。楽しい気持ちがあれば頑張れるけど、楽しくなくなったら頑張れなくなるもの。
そんな中で、悔しい気持ちや辛い気持ちになってもここまで努力を続けてこられたのは保護者の方々の
厳しくも、あたたかい激励があったからではないでしょうか？

そしてついに上級クラス！！バタフライ・個人メドレーを習得するクラス。

「バタフライって難しそう．．．泳ぐ距離が長くなって辛そう．．．」

そんな不安を抱えるお子さまも少なくないはず。だけど大丈夫！！後ろを振りかえってみてください。

お子さまは今まで多くの困難を乗り越えてきました。乗り越えられないことなんてないと思いませんか？

さあ、もう少し！！親子で二人三脚、「1級合格」に向かってもうひと踏ん張り！！



卒業生、保護者の声



4才ぐらいからの頃からスイミングを始めて約7年。
とても長かったです。特に5級あたりからとても
難しくなっていて、一時スイミングを辞めようと
思いました。

でも、頑張ったら特習まで行けました。
だから何事も諦めないようにしたいです。

卒業おめでとう！！この日まで色々大変だったね。
先生に怒られてもくよくよせず、
頑張ったこと忘れないでこれからもいろんなことに
チャレンジしよう！！

〇〇（名前）なら何でも乗り越えられる。頑張って！！



自己肯定感

～子どもに愛の注入～

子どもへ愛を注入すると、それは子どもの自己肯定感のUPにつながります。

自己肯定感が高いと何がいいのかというと「私はこのままでも大丈夫」と思えるんです。

それは向上心がないという意味ではなく「こうなりたいからこれをやってみよう」

と思ってそれを実現するために、進む力もあるし、「このままでも大丈夫」という気持ちがあるから
「失敗しても大丈夫」と思えるんです。

失敗したらまたやってみたらいい。

失敗したら違うことを試してみたらいい。

それでまた失敗したっていいじゃん。

今のままでも大丈夫。これが成功したらもっとすばらしい自分になれる。

でも「今のままでもすばらしい」、だからいくらだって何にだって何度だって挑戦できるんです。

そのくらい自己肯定感って大事です。その自己肯定感っていうのは主に幼児期～小学校期に作られます。

その時期にたくさんの愛情を注入するっていうことが本当に大切です。

たとえば子どもの話を「聴く」。ちゃんと目を合わせてうなずきながら笑顔で聴く。

2分でもいいんです。そういう簡単なことが本当に、大切です。

親にしかできないこと。子どもの自己肯定感をあげることです。

